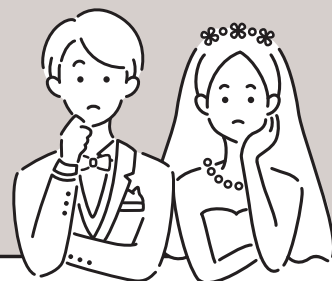


結婚式Q&A集



新郎新婦の方々へ

はじめに

結婚式に向き合い、悩まれている
全ての方にむけたQ&Aをまとめました。
皆様が考えやすくなるお手伝いが
できましたら幸いです。

結婚式を開催する場合に 考えられること

Q

開催する際に、家族だけの参加にするなど
人数を絞ることで効果はあるのでしょうか？

A

人数を絞った場合、“その場に感染者が存在する可能性が減少する”、“一人当たりの空間を広くとることが可能になる”という観点から、感染リスクを減らすことが出来ると考えられますが、換気の悪い密閉空間を作らないという観点から、厚生労働省の発表によるビル管理法の考え方に基づく必要換気量(一人あたり毎時30m³)が確保できている、ということがひとつのポイントとなります。

会場の大きさに対して密集状態を作ってしまう様であれば、人数を絞る選択肢も考えられてははいかがでしょうか。

しかし、十分に広い空間であっても、近距離での会話や食事は、飛沫及び接触感染のリスクがあります。人数を絞るだけでなく、環境を整えることが大切です。

Q

結婚式にかかる一般的な所要時間は
挙式30分披露宴2時間半ですが、
短縮することに効果はありますか？
また、換気することは効果はありますか？



A

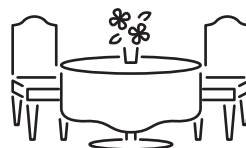
厚生労働省の発表によると、感染予防対策として「窓の開放による方法」が有効とされており、換気回数は『30分に一回以上、数分間程度、窓を全開する。』ことが推奨されています。(※換気回数とは、部屋の空気がすべて外気と入れ替わる回数をいう。空気の流れを作るため、複数の窓がある場合、二方向の壁の窓を開放すること。窓が一つしかない場合は、ドアを開ける。)一般的な披露宴では、同じ空間に長時間大勢の人が滞在する傾向があるため、披露宴の時間を短縮した

り、30分に1度の換気が行えるような会場の利用の仕方(途中で屋外に出るプログラム組みなど)を検討する必要もありそうです。

仮に感染者が出席をしていたとして、感染しうる環境下に他人が存在している場合、ウイルスに対する暴露時間が長いほど、感染のリスクは上昇することが考えられます。ただし挙式披露宴を行う場合に劇的な短縮は難しい場合も多いかと思われますので、時間を短くすることによる効果だけではなく、「感染しうる環境」をいかにつくりださないかに注力するのが望ましいと考えます。その「感染しうる環境」を作らないひとつの方法として、換気は有効だと考えられます。

Q

ゲスト同士が近づく状況を作らないために
工夫できることはありますか？
席と席の距離を開けることで効果はありますか？



A

5/1更新

厚生労働省が提言する①換気を励行する②人の密度を下げる③近距離での会話や発声、高唱を避ける、を踏まえた会場選びやプログラム組みでの工夫が考えられます。

例えば写真撮影や挙式などは屋外などで行ったり、小規模での開催に切り替える、などが有効と考えられます。

また、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議では「対面で人と人との距離が近い接触(互いに手を伸ばしたら届く距離で1メートル程度)が、会話などで一定時間以上続き、多くの人々との間で交わされる環境は感染を拡大させるリスクが高い」とされていますので、席と席の間隔を空けることでの効果は、確実ではないとしても期待はできそうです。一定の距離を保つでの会食の可能性や、参加者やスタッフが会場内を移動する導線を確保した配席の工夫、ゲストが密集しない誘導の方法などを総合的に考慮できるとベストでしょう。

Q

ゲルタイプなどの空間除菌剤をテーブルに
置くことなどで除菌する効果はありますか？

A

4月3日現在、明確なエビデンスを見つけることはできませんでした。新型コロナウイルスに対する詳しい効果などは、製造元にご確認いただくことが望ましいと考えられます。

次のページへ▶